広報かじき

No.274
昭和53年 1月号

発行／加治木町
編集／総務課
印刷／吉屋印刷

一日の計は朝にあり
一年の計は元旦にあり

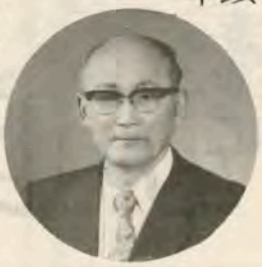
明けましておめでとうございます。
今年は午年、飛躍の年です！
お互いに不景気の風を乗りきりましょう。

■メモ　人口／21、412　男／10、159　女／11、253　世帯／6、938　（52年12月1日現在）

年頭のあいさつ

町民の生きがいと希望を託するに足る建設に努力を

町長　東　国雄



町民の皆さん明けましておめでとうございます。

輝やかしい昭和五十三年の新春を迎え、皆さんのご健勝を心からお祝い申し上げます。

さて、過ぎ去った昭和五十二年を顧みますと、国の内外を問わず政治経済のすべてにわたって不安定な年でありました。特に、わが国の経済は長期にわたる不況が続き国際的な円高や二〇〇海里の問題等、石油危機以上の困難な状況となり、国も地方も企業、団体、個人も大変な年であったと思います。

しかし。このきびしい情勢の中で、町民の皆さん、よくそれぞれの道を拓いていただきました。

翻って町一年の歩みを振り返りますと、懸案の加治木町総合振興計画基本構想は町民総参加のもと一年有余の歳月を費やして策定を終ることができ、加治木町のビジョンができました。また、木田本通線、竜門地区農免道路外各地区の道路・新設改良と維持補修、災害復旧や学校・公園・都市排水等各面の生活関連施設の整備も順調に進み、農業、商工業、保健衛生等の面においても多大な成果をあげました。なお、人口も有史以来の二万一千三百人有余に達したことはよろこばしい限りであります。

さて斯様な状勢の中で新年を迎えたわけでありますが、私は町民の生きがいと希望を託するに足る、町の建設にいっ層精進努力する決意であります。

つきましては、町の建設の具体策如何ということになりますが、わが町には冒頭申し上げた、町民全部の意向調査から積上げた加治木町総合振興計画基本構想が策定され、町づくりの憲法ができ上ったわけでありますから、この構想なり之に基づく計画が示す方向に向ってどんな困難があっても、町民の総力を結集してこれを乗り越えて進んで参ることが大切であると考えます。

もとよりこの実現には、五十三年度を初年度として構想の段階から基本計画なり、実施計画そして実行に移さなければなりません。具体的には、構想にもられた都市計画事業、住宅団地の建設、各地区の道路整備事業、用途地域の決定、都市排水、上下水道事業・区画整理事業や学校統合、農村工業導入なり十三塚原畑地総合土地改良事業を含む土地改良事業等多くの事業を計画的に取入れて、云うなれば総花的行政をやめて計画行政を進めることになりますが、予想する事業の一つを取上げても、地権者、関係者、町民一人ひとりのご協力なしには実現は不可能であります。

このような事情からいたしまして、本年もまた町民みなさんの町政に対する倍旧のご支援と、ご協力を賜わるよう切にお願い申し上げ、ご健勝とご多幸を祈って新年のごあいさつといたします。

問題解決のためいっそうの努力を

町議会議長　犬童秀清

町民の皆さん、あけましておめでとうございます。

年頭にあたり今年も町民の皆様方のご多幸と、一層のご発展を念じましてごあいさつ申し上げます。

町議会も昨年五月の議会構成の改編により、新しい体制のもと議員一同「住みよい加治木町」建設のため、その責務達成に専念してまいっておりますが、まだまだ解決をしなければならない事業や案件も数多く横たわっております。

町執行部としても、道路、下水溝の整備、教育施設の整備、その他産業振興、福祉行政の面など、精いっぱいの努力を重ねておりますが、財源の問題等もあり、まだまだ十分とは言えない状況でありまして、更に一層の努力が期待されるところであります。申すまでもなく地方自治の本旨は、住民の福祉を増進し住民生活の安定をはかることにあります。

住民代表である私ども議会人の責務は、現在のような変化の激しい時代においては、特に、その責務の重大さを感じております。これからの行政は、広い視野に立った広域的な町政運営がなされなければならないことは言うまでもありません。一つの自治体だけで解決できない問題もたくさんあります。

緊急に措置しなければならない下水道事業にいたしましても、また、既に着手されている木田本通り線の問題にいたしましても、大変な経費を要する事業であり、住民の方々のご協力なくしては絶対に達成できないのであります。また、国・県の強力な援助がなければ不可能であります。

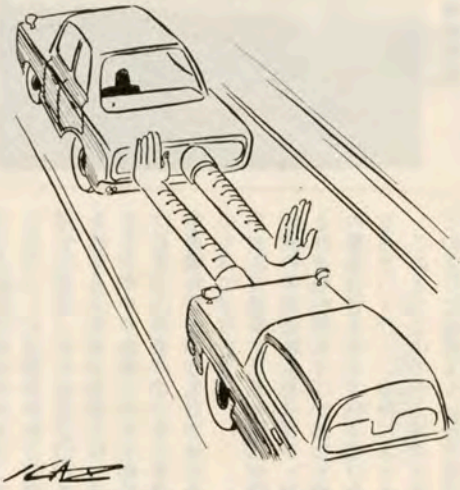
加治木町議会といたしましてもこれらの問題解決のため国・県に対し、その実現のため予算獲得等に一層の運動を展開し、その実現に努力を重ねて参りたい所存でございます。

将来の加治木町はどうあるべきか、また、どのような方向に進むべきかについて、町民一人ひとりのアンケートに基づき、住民総参加のもと作成された「加治木町総合振興計画基本構想」なるものが昨年の九月議会で議決されましたが、これに伴う「基本計画」「実施計画」が問題であります。議会といたしましては、これが絵に画いた餅でなく、実現されるものになるよう予算審議を通じ、監視と実現に努力を続けて参りたいと思います。

議会といたしましても昭和五十三年度は更に躍進の年として、執行部ともども最大の努力を傾注していく覚悟であります。なにとぞ倍旧のご指導とごべんたつをお願い申し上げます。

年頭にあたりいささか所感を述べ、ごあいさつといたします。

寒い時期の交通事故防止



ドライバーの皆さん「車間距離は十分に」

鹿児島は、積雪がまれであることから、スノータイヤやチェーンの準備がなく、いったん雪になると、いたるところで車が立往生したり接触事故を起こしています。

このようなことにならないようスノータイヤかチェーンを準備しておきましょう。

▼酔ってからの歩行は危険です。

▼寒い日は、道路に水をまかない。

例年、一月から二月にかけては寒さが最も厳しい時期です。

このため、積雪や路面の凍結などで道路が滑りやすくなり、スリップによる追突や転落事故など、思わぬ交通事故が発生するおそれがあります。

寒い時期の交通事故を防ぐため次のことに注意してください。

運転者のみなさんへ

▼車の点検整備を確実に

安全運転のため、平素から点検整備は欠かせませんが、とくに冬は、寒さのため車の各部分の機能が低下しがちですから、入念に点検整備をしてください。

▼スピードは控え目に、車間距離は十分に、

積雪や路面が凍結しているときは、制動距離がのびています。車間距離は、ふだんの二倍以上とりとくに、寒い日の日陰部分は必ず凍っていると考えて、スピードを控えた安全操作を心がけてください。

▼急ブレーキは禁物

急ブレーキは、スリップの原因となります。早目に減速し、ブレーキは数回に分けてかけましょう

▼タイヤチェーンの準備を

ゲートボール雑感

中塩入　鶴田末一（七〇）

ゲートボールが始まった頃、私は全然無関心でした。老人向につくられたのでしょうが、きわめて単純なもので老人は内に引っこもりがちだから、戸外に引っぱり出して外気にあたり日光浴をさせるのがねらいだろう。おれはまだ元気だからあんな仲間入りはどうも位に思っていました。

ところが、いったんやって見ると、作戦の理論的な深さに驚きました。敵味方一〇人が順次に球を打つので球の位置は刻々とかわり千変万化です。味方同志共同して次の球との連繋をとりながら自球を有利に進め、敵の球を排除して行くには先のさきまで考えた球の配置の作戦が必要です。

ゲートボールは、野球や庭球のように飛んでくる球を打つのではないから誰でも出来ます。しかし敵味方の球の位置を考えて打つには、思った方向に思った位置に、正確に打てなければなりません。また、他球へ当ててからそれがどちらの方へ転んで行った方がよいか等、先のさきまで考えた極めて頭を使う競技であります。

自分が犠牲となって敵球の排除につとめたり、味方の二度打を誘ったり、作戦計画は無限の面白味があります。老化防止のためには適当に頭を使えと言われます。心身が老化してからでは技術の向上もルールの研究も既におそいです対外試合ではスタミナも要求されます。

従来の加治木の実績を更に進める上にも、若くて知能的な仕事の経験のあられる方がどしどし参加してもらいたいものだと思います。

「優しい時代」のロケ　加治木高校が舞台

加治木高校正門でロケ中の篠田さん（左）

NHKの土曜ドラマ「優しい時代」のロケが、十二月十三日から国分市や加治木町ではじまった。

ドラマは三部にわかれていて、それぞれ七〇分ものになっている。主役には篠田三郎が朝倉克己という高校の先生にぶんし、その克己は鹿児島県に生まれ東京の大学を出たが、中央志向型の世相に批判的で郷里に帰ってきて高校の先生となり、高校生たちとの間に青春をぶっつける。このほか、長門欲之が教頭の役、檀ふみが克己の恋人役で出演。十二月末までに数回、加治木高校（ドラマでは鶴舞高校）でロケを行った。

第一回の放映は二月二十五日㈯、第二回は三月四日㈯、第三回は三月十一日㈯午後八時から九時十分まで放映されます。

地区対抗駅伝大会　竜門好成績で優勝

第六回地区対抗駅伝大会は十二月四日五地区が出場、加治木女子校前から須崎海岸堤防の、折返し十区間二十四キロのコースで行われました。

今回は出場チームが少なかったが、各チーム共日頃の練習の成果があらわれ、前年のタイムを一分も縮めるよい成績で竜門地区が優勝しました。

成績は次のとおりです。

優勝　竜門（1時間32分45秒）②永原（1時間35分0秒）③錦江第一（1時間38分56秒）④城西⑤錦江第三

区間賞　一区＝内村司（竜門）二区＝桑迫千尋（永原）三区＝溝口博嗣（同）四区＝東伸治（同）五区＝石野金治（竜門）六区＝大野浩（城西）七区＝向江小百美（永原）八区＝藤島るみ子（竜門）九区＝日高鉄男（同）十区＝城輝行（永原）

農業委員会だより

賀　正

町農業委員会長　下猶篤男

明けましておめでとうございます。

新年にあたり農業委員会の考え方についてふれてみたいと思います。まず、本年の課題といたしましては「農地保有合理化事業に基づき、企業より買入れた県開発公社有日木山楠原台地、畑約三十二㌶の内、五十二年度事業として十三塚原畑総事業により十一㌶が基盤整備中であります。残りについても早急に基盤整備を進め、地域の意欲ある自立経営農家を対象にして売渡しを進めてまいりたいと思います。

これに関連し農地移動適正化あっせん事業を進めて、遊休農地や利用度の低い農地は、できるだけ専業農家で規模拡大を目指す農家に売渡し、貸付けるなど地域内農地の利用度を高めるようすすめる必要があります。これらに対し、農家が安心して農地の貸し借りの出来る制度改正がなされておりますので、御利用いただきたいと思います。

また、農家にとって農地はかげがえのないものでありますので、農業委員会といたしましても農地のかい廃を極力おさえ、農用地造成を積極的に進めて農用地確保に努めたいと思います。

一方農政に目をむけると、先ず米についても連続の豊作と消費の減少により、本年は五〇〇万トンを超える予剰米が予想され、過去五年がかりで進められた生産調整にもかかわらず、こん度は水田利用再編対策という名目で減反を強いられております。

また、畜産にしても円高の国際経済の中では輸入を「ヨギ」なくされ、今や国内だけではなく世界の農業に目を転じて行かなければならないきびしい情勢にあります。

このような中で我が家の土地をどのように利用し、いかに経営を改善していくべきかを真剣にとり組むべき年であろうと思慮いたします。このきびしい情勢の中で、農家の皆さんと一体となって精意をもって研究し、努力を重ねてまいりたいと思います。

整備が進む楠原台地

風邪をひかないための食事

タンパク質が不足すると、身体の抵抗力は弱まります。そのうえ寒さのストレスは体内のタンパク質を大量に分解します。これを補うためにも日ごろ、肉、さかな豆腐といった良質のタンパク質を十分にとっておくことが大切です

また、風邪をひかないようにするには、ビタミンCが必要です。新鮮な野菜サラダ、おろし大根、さつまいもなどの一品をつけ、食後にはミカンを一つ必ず食べるようにして、ビタミンCの補給を。

そのほか、ビタミンAは粘膜を強めて、鼻やのどからウイルスが侵入するのを防ぎます。油で料理した青菜やにんじん、レバー、バターを多くとるように心がけましょう。

町の民生委員きまる

任期は三年間

任期満了に伴う加治木町民生委員、児童委員の選任があり、次の方々が向う三年間委員として活躍していただくことになりました。

民生委員、児童委員の仕事は、皆さんもご存じのとおり、地域社会の生活状態をたえず把握しながら、保護を要するものがあれば、これを摘切に保護指導を行い、ときには相談にのるなど生活に困っている人たちのため活動しています。

委員は次の方々です(十二月一日付)

番号	氏名(部落)	担当区域
1	田中　実(端山)	端山、新町、下新道、新富団地、
2	竹内親男(今町)	反土黒川、今町、昆沙門、港町、下浜
3	前田幹子(東諏訪)	小陣、天神、東、西諏訪
4	楢木キクエ(垂ノ口)	蒲生田全部、西町、仲町、江湖、垂之口
5	富岡アヤ(札立)	札立、城、口ノ町、内原田、高井田
6	池畑守夫(中塩入)	春日団地、蔵王団地、空港団地 東塩入、中塩入、南塩入、西塩入
7	坂元重子(中福良後)	楠園、新中、西ノ原、小鳥、上木田、中福良東後
8	木場フヂエ(東岩原)	岩原(東・西)みくろ、江口団地、西江口団地
9	杉田　平(須崎)	須崎、浜村、豊町
10	吉田重義(迫下)	迫(上・下)
11	山下純男(上川内)	宮田ケ平、新開、川内、上川内、市来原 地久里
12	後藤重春(桃木野)	菖蒲谷、曲田、桑迫、桃木野
13	外村豊二(下嶽)	上嶽、下嶽、ヒナバ(東・西)
14	大宮路任(辺川下)	市野々、市野、鶴原、道風、辺川(中・下)
15	谷口三郎(里ノ上)	日木山黒川、里(上・下)、吉原、東吉原団地
16	鎌田靖子(萩原)	柳田、於里、萩原
17	堂免久子(田中)	竹下、田中、川原、西反土前、西反土後
18	日高一夫(伊部野)	毛上、茶碗屋、伊部野
19	山元重志(井手向)	布越、井手向、小田倉、高崎、岩穴口、徳永
20	石野キク(石野)	石野、屋所、東木、赤谷、くらかけ、永山
21	永原武男(永原)	永原、隈原(上・下)、丸岡、提水流
22	常盤清蔵(中野)	長谷、中野
23	梅木文吉(弓削)	楠原、弓削

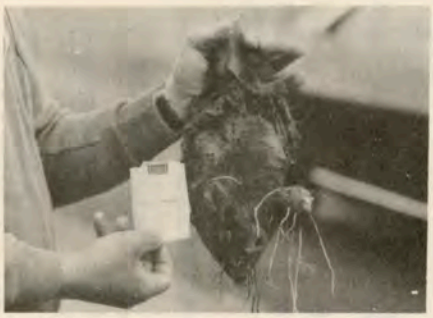
話題

一個で一・二キロのジャンボさといも

町内塩入の宝蔵秋夫さん(四六)はこのほど自宅のさといも畑でジャンボなさといもを収穫。道ゆく人をびっくりさせた。

このさといも一個で重さ一・二キロ、周囲三十四チン、長さ二十四チン大きないもに小さないもがデベソみたいにくっついている。

さつまいもの場合、あちこちでジャンボものが話題になっているが、さといものジャンボは初めてです、と、いもを堀りだした宝蔵さんも話していました。



デベソみたいないもをつけたジャンボさといも

通産大臣から表彰
㈱江夏金物店

通産省が二年に一回実施している商業統計調査で、このほど町内本町の株式会社江夏金物店（取締役・江夏利男）が通産大臣表彰をうけました。

これは同会社が、多年にわたって商業統計調査の趣旨をよく理解し、正確かつ迅速な報告に努めたこと、また、他の模範となりその努力に感謝し贈られたものです。

受彰について同店では、これを機会にこれからもがんばりますと喜びがいっぱいでした。

伝達表彰をうける江夏商店

土地提供者の協力で
コモを巻かれた自動販売機

加治木町にも俗悪週刊誌の自動販売機がお目見え、町民の電話作戦でついにコモが巻かれた。

この自動販売機は町内の新道街道に設置され、場所提供者は普通の週刊誌を販売する自動販売機ということで了解。ところが、数日後になって、いま全国に問題となりつつある俗悪週刊誌を売る無人販売機であることが、通行人や町からの連絡によってわかった。

それ以来、土地提供者宅には毎日のように『撤去してください』と電話がひっきりなし、ところが設置者が鹿児島市のある会社であるため勝手に撤去できず、土地提供者も当初の話しと違うということと、俗悪週刊誌追放の協力のため、ついに電源を切りコモが巻かれたものです。

コモが巻かれた自動販売機

県庭球選手権大会
穂森正弘選手優勝

さきに行われた日本庭球協会鹿児島県支部主催による、昭和五十二年度県庭球選手権大会（鴨池）で一般男子シングルスに参加した町内上木田の穂森正弘さん(二二)は八回戦（参加選手二〇〇名）を勝ち抜いて見事優勝。名実ともに県下の第一人者となった。

同君は中学時代からテニスを始め、全日本的庭球選手である小浜氏長さん（於里）の指導のもと、長年苦切して生長した生粋の加治木出身選手である。

戦績＝準々決勝（六回戦）
穂森（加治木ク）76―53安藤（鹿児島ク）（前々年優勝者）
準決勝（七回戦）
穂森（加治木ク）66―12吉留（鹿大OB）（前年優勝者）
決勝（八回戦）
穂森（加治木ク）66―24本田（鹿大OB）

庭球で県第一位の穂森さん

井筒親方の鶴ケ嶺
寸暇をさいて帰加

町内、小山田出身の名人力士、元関脇・鶴ケ嶺（現井筒親方）夫妻が暮れの十五日町長室を訪れた

「念願の名門〝井筒部屋〟を襲名することができた。現在弟子は二十名いる。井筒部屋から関取が一人でも早く誕生するよう、みんなで努力しけい古に励んでいる」

長男の好政君(一八)の話しになると「しこ名は自分の十両時代の〝鶴嶺山〟で取らせている。九州場所で六勝一敗の星を上げたので十二月の新番付では幕下に上がるだろう。体も自分よりはるかに大きい」と満足そうに奥さんと顔を見合せる。二男の好昭君(一六)も角界入りが報道されており、親子二代、兄弟力士の出現もやがては実現できそうだ。井筒部屋の発展に期待したい

町長をはさんで語らう井筒親方夫妻

町連合婦人会

俗悪な本の入った自動販売機 撤去追放運動!!

◆婦人会だより◆

十一月十八日町社会教育課長さんより「加治木工業高校の寮の二百㍍手前の緑化センター前に自動販売機が建てられている」と、お聞きしました。

その日、錦江校区婦人会の代議員会で、早速議題として協議され「販売機を置いた阪神サンブックスKKに電話をかけ、早い機会に撤去されるよう運動しましょう」と話し合われました。

十九日、臨時常任委員会を開き緑化センターの現場を見にいきました。俗悪な本が五冊位はいっておりました。「阪神サンブックスKKへの電話策戦をとりながら、署名運動もすることにしましょう」と話し合いました。

二十二日、町内の三軒の本屋へ実態調査に、三グループに分かれて出かけました。そして、販売店の方と話し合いました。不良図書の取り扱いについて、未成年の人には売らないようにしてほしいこと。成人コーナーを設けて下さるように、良識あるお取り扱いをお願いして参りました。不良図書は送り返しておられるお店もございました。嬉しゅうございました。

家庭でも不良図書のお取り扱いには気をつけていただきたいと思います。不良図書を持ち込んだり青少年の目にふれないようお取り扱い下さい。また、不良図書に影響されない、青少年に育てて参りましょう。

二十四日、自治会館で県下九つの婦人団体の集いがありました。「今後のくらしについて」をテーマで、省資源運動と青少年をとりまく環境についての二つの分科会が開かれました。青少年をとりまく環境の分科会でも自動販売機のことが話し合われ、県下八十箇所の自動販売機を撤去するための大会決議を行いました。

その他、柁城校区婦人会のスポーツ教室の際にも、また、生活学校終了後も機会あるごとに、撤去運動への協力をよびかけ、緑化センターへも電話をかけて下さるようお願いしたり、かけたりしてきました。教育長さんはじめ社会教育課の方々の御指導をいただきながら、幼稚園、小学校、中学校、高校のPTAの方々とも協力して撤去出来ました事を「青少年をとりまく環境浄化月間への実践活動」として、生活を明るくする運動への推進ができまして、低俗な本から青少年を守ることができ親としてこんな嬉しいことはありません。ありがとうございました。

家族の協力でゴミの量をへらしましょう

成人式

成人式を迎えるにあたりまして婦人会では、洋服で参加の成人式を提案して参りました。

生活の簡素化、合理化の立場から無理無駄のない生活、また、不況と円高、このあおりをうけて企業倒産は最悪の事態を迎え、失業者も増加しているこの社会状勢の中で、私達は成人式に親として何をしてやるべきなのでしょうか。

和服は日本の衣装です。御両親様、お子様共々に着物を着たいとおっしゃいますお気持ちは、わかります。成人になられたお祝いに着物をつくられて着られるのも、お祝いの一つかもしれません。

でも、高度経済成長の結果、ぜいたく華やかになり、何だか成人式は着物をみせる会、着物のファッションショーのような感じが致します。本年は和服をつくっている。つくられつつあるという事で例年どおりになりました。家で着られるのを婦人会は、着ないようにしようと申し上げているのではございません。無理無駄のない社会状勢にマッチした成人式の行われますことを願っております。

竜門句会

八十路なほなすことのあり冬麗ら　井之上透山

残る日を照りつくさむと山紅葉　三浦　ゆう

命あるあかしなればと賀状書く　曽木　柳田

それぞれの重みありけり散る木の葉　横山　江南

小春日のビールの泡を溢れしめ　鶴田　耕

寒強く噴煙今朝は南指す　恒吉　斗南

秋天を飽くまで仰ぐ病愈え　松永　愛子

木枯しも吹き初めにけり楠の種子　宮脇　思川

天高し明治青年意気揚る　伊丹　司朧

たばこは
町内のお店で
買いましょう

文化財めぐり

精矛神社

日木山　里ノ下

大字日木山の里にあり、第十七代太守島津義弘を祀ってある。

島津義弘が朝鮮役の軍功で加治木を領することとなり、慶長十二年十一月、帖佐平松城からここに移り、元和五年七月二十一日の逝去まで十二年の間在城したが、この終焉の地仮屋町に明治二年勧請したのがこの神社である。そしてその三百年祭に当る大正七年十月一日、日木山の扇和園に新たに社殿を造営遷座し、県社に昇格して今日におよんでいる。同時に稲荷神社も同境内に移さている。

住民総参加によって

町の総合振興計画きまる

〝明日の加治木町〟に向って

熱心に協議する促進委員たち

加治木町を将来どのような町にしたらよいか。また、しなければならないか。将来あるべき姿を示す計画を策定するため、昭和五十年度から役場内部でいろいろと作業を進めてきました。

広報十月号でお知らせいたしましたように九月十四日、加治木町総合振興計画審議会から町長へ計画素案の答申がありました。

この計画を策定するには、住民意向調査、基本構想案の説明会および意見聴取、議会の考え方、各種団体等の意見を聞き住民参加のもとに構想案を検討し、原案としてまとめて審議会へ諮問しました。

審議会では長期間審議を行ない町長へ答申。町長はこれを九月定例町議会にはかり、審議の結果原案どおり可決されました。

今後、加治木町では議会で可決された、この基本構想を行動の目標として〝明日の加治木町〟に向って行政をすすめることになります。

次に総合振興計画の構想をのべてみます。

○基本構想…昭和六十五年を目標とした町の総合的な計画体系

○基本計画…昭和六十年までを前期とし、六十五年までを後期として、基本構想を具体化する各部門の施策、計画

○実施計画…昭和五十三年を第一年次とし、基本計画に基づく事業実施計画

以上三つの構成からなっています。

基本計画は、基本構想と併行して策定作業を進めていましたのでまもなく計画書として公表されることになります。

最も重要なことは、事業計画を実現させることであります。具体化するため、内部に振興計画促進委員会と企画財政調整委員会を設け、実施計画策定のため委員会を開き、基本計画の中にある継続事業、当面しなければならない事業新しく始めなければならない事業等について調整しております。昭和六十年までの各部門の事業量、事業費はばく大なものが計画されておりますが、まず第一次実施計画として五十三年から五十五年で何を、どこに、どれだけ、どの方法で実施すべきか選択するため、委員会では意志統一をしながら原案作成の調整を行っております。

今日、多くの住民需要が出されていますが、町の行財政力だけでは限界があります。国、県、企業団体等の力を得ながら、特に住民の理解と協力がその結果を大きく左右されます。

例えば、都市計画法に基づく用途区域を設定したり、農業振興法でいう農用地の設定など、直接住民の利害関係が生じてまいりますが、生活環境を整備するには、乱開発防止のため規制をしなければならないこともあります。

このように住民すべてが参加し一定の方針をきめて行動をおこすことが「市民生活が躍動する文化的な居住都市」をきづくものと思われます。

町民の皆さまも、この総合振興計画を十分ご利解していただき、町行政推進のためご協力くださるようお願いいたします。

次は実施計画等についてお知らせするつもりです。

加治木町の未来像 図画・作文きまる

加治木町では、町の姿を写真や資料で紹介する「町勢要覧」の発行をすすめています。

このなかで小・中学生を対象に「加治木町の未来像」をテーマにした図画、作文の募集を行ったところ、図画の部で一八四点、作文の部で四四三点の応募があり、町勢要覧起草委員会で審査の結果、次の方々が入選されました。

なお上位入選作品は一九七七年度版「町勢要覧」に掲載されますご協力ありがとうございました。

持留裕之くん

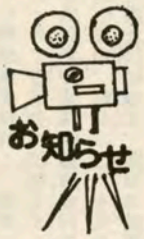
大脇　勝くん

稲留　斉くん

【入選者】

作文の部＝一席　持留裕之（加中二年）▽二席　大脇　勝（加中二年）▽三席　境田律子（加中二年）

図画の部＝一席　持留裕之（加中二年）▽二席　稲留　斉（錦江小一年）▽三席　鮫島篤子（加中二年）



年賀状で住所録の整理を

日頃、忙しさにまぎれて便りをかわす余裕のない人々にとって、年賀状の交換でお互いの消息を確かめあうのは、うれしいものです。

そこで、年賀状を受け取ったらこれを機会に、住所録の整理をしておきましょう。住所録の整理をしておくと、次に手紙を出すときたいへん便利です。

なお、最近、全国各地で新住居表示制度が実施されています。このため、住所は同じでも、表示が「〇〇×丁目×番×号」のように変わっていることがありますから十分注意してください。

居住用家屋の売却税は三千万円までは非課税

土地や家屋を売ると、その売却益に税金（所得税と住民税）がかかることを知っていますか、

例えば、親から相続した土地を売り二千万円の売却益があったという場合には、約五百万円の税金がかかります。

ところが、売却したものが自分の住んでいる居住用家屋とその敷地であるという場合には、売却益三千万円までは税金がかかりません。ただし、売却益から三千万円を差し引いた残りにだけしか税金はかかりません。

もっとも、この特例には、いろいろな要件がありますから、あらかじめ税務署でその要件をよく確かめたうえで売却した方が無難です。

町民税（四期）国民健康保険税（五期）

電話局から

〇…姶良郡、国分市の電話番号のお問合せは一〇四番へ

まずはじめに市町名、次に相手のお名前を（例えば隼人町の電々太郎さんは）

〇…その他の地方は

全国の県庁所在地と北九州、川崎、堺市へは、市外局番につづけて一〇四番をダイヤルしてください。（例えば〇九九二―一〇四）

〇…夜間割引き時間は午後八時から翌日午前七時まで。距離は六〇キロメートル以上です。（離島を除く鹿児島県内および都城、小林などへは夜間割引きはありません）

〇…夜八時から十時頃までは大変こみあっています。割引とならないところへは、できるだけこの時間をさけて御利用をお願いします。

看護婦募集

若干名

国立南九州病院では看護婦の募集を行っています。希望者は履歴書持参のうえ面談いたします。

〇場所　国立療養所南九州病院（加治木町木田）

TEL②二一二一

国鉄橋梁上からの魚釣り等は禁止

日豊本線加治木・帖佐間にある別府川橋梁（鉄橋）上から魚釣り又は投げ網を張っている人があります。ついては、列車の運転に支障をきたし大変危険ですから、ぜったい橋梁上に、は入らないようお願いします。

もし、橋梁上に人がいて列車が停止したときは、相応の過料をいただくことになります。（国鉄）

香典返しを寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人

＝町社会福祉協議会へ＝

五万円　端山重久　宏（父春之）
一万円　萩原山口　章（母セキ）
二万円　港町西田　ミキ（夫清彦）
一万円　徳永野老迫末子（夫松志）
二万円　端山末重　等一（妻洋子）
一万円　萩原木佐木フミエ（叔母トヨ）
二万円　東岩原宮崎　ハル（夫菊治郎）
一万円　朝日町中島　隆子（母山田シズエ）
三万円　須崎杉田　常蔵（母ヤサ）
一万五千円　川内川内　重良（妻トシノ）
一万円　市来原市来原光義（妻妙子）
二万円　里ノ上末永ユキエ（夫清）
一万円　於里前田美恵子（夫実）
二万円　内原田松下　篤憲（父勇助）
一万円　須崎郡山　隼人（母ヨシ）
十万円　岩原西田中加代子（夫俊隆）
二万円　長谷緒方ツヤ子（夫馨）

＝町育英奨学資金へ＝

二万円　岩原西田中加代子（夫俊隆）

＝町国民年金協議会へ＝

一万円　内原田松下　篤憲（父勇助）
一万円　毛上大村　ナホ（夫清志）

□…十二月二十日までのご寄付を掲載いたしました。

一月の在宅医

1日　玉利病院　②二三二八
2日　岩崎医院　③一六六一
3日　大川医院　③二〇三二
8日　大井病院　③二二九一
15日　池田医院　②二二二〇
16日　川畑医院　③一四九九
22日　神田橋医院　②二〇二四
29日　上妻医院　②二四二一

■…診療時間は午前九時から午後五時までが原則です。

■…当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください